

「自分たちの経験」を誰かの幸せにつなぐ

皆さんが、身近な人や周りの人の幸せのために「何かしたい」と考えたとき、どのような行動を起こしますか。

今号では、来店した人を幸せにしたいという思いを持って市内でカフェを経営している「Unbreakable」の新山華加さんと、小山田恵加さんのお二人へ、ゆっパル編集委員がお話を伺いました。

Interview



ランチメニュー、お弁当などを担当
小山田さん

コーヒー、パン、ケーキを担当
新山さん

新山さんへお聞きしました

「120%の力」でおもてなしをしたい

今までの自分を振り返った時に、一人一人に全力で向き合いたい気持ちがあっても、思うように実現できないこともありました。札幌市で暮らし、さまざまな職業を経験する中で、ホスピタリティ（おもてなし）を大事にしている飲食店で働く機会があり、飲食業であれば来てくれたお客さんに自分の気持ちの120%を届けることができること、この仕事の楽しさを知り、飲食業をやろうと思いました。

「どんな人でも利用できるお店」を目指して

「男性」「女性」「ひとりで」「グループで」「子どもと一緒に」「大人だけ」など、「どんなお客さんでも来てください」という思いから、お店の設備を整えることを大切にしました。カウンター席やテーブル席、小上がりのあるお部屋など、来てくれるお客さん一人一人に居心地よく過ごしてもらいたいです。

それから、お店のトイレには子ども用と大人用の両方の設備を整えました。大人だけで来たお客さんが、トイレを目にしたときに「子どもも連れてきて大丈夫なんだ」「次は一緒に来ようかな」と思ってくれたらうれしいですね。

お店の名前は好きな歌から

私はアリシア・キーズの歌が好きで、彼女の歌のタイトルが由来です。特に、この歌のMV（ミュージックビデオ）が印象的でした。アパートに囲まれた中庭で彼女たちが歌っていると「何だろう？」と興味を持ったアパートの住人たちが外に出てきて、最終的にはみんなで楽しく歌って踊る様子が、とても良いなと感じました。

「Unbreakable」の意味には「壊れない」のほかに「人やモノの結束」という意味もあります。このMVのように、みんなで楽しく盛り上がり、お店とお客さん、時にはお客さんとお客さん同士の絆が深められる場所にしていきたいです。

ゆっパルの由来

この地方の方言で「結ぶ」という意味の「ゆっばる」と、英語で「仲間・友だち」という意味の「パル」からできています。『一人一人の思いが結びついて仲間をつくる』という願いが込められています。

十和田市男女共同参画市民情報誌「ゆっパル」編集委員によるコーナーです。

アンブレイカブル **新山華加**さん、**小山田恵加**さん

市内で7年間保育士として働いた後、単身で北海道札幌市に引っ越し、多様な業種で経験を積み、本市へUターンした姉の新山さんと、調理師の資格を生かして福祉施設やレストランなどで働き、調理に携わってきた妹の小山田さん。そんな姉妹が、お互いの経験や得意分野を生かし、令和元年11月に始めたのがカフェ「Unbreakable」です。現在は、食事を楽しむ場所としてはもちろんのこと、カフェ空間を生かしたイベントやワークショップなども開催しています。



店内の様子



ベビーベッド

実際のトイレの様子（一部）

手洗い台用の踏み台

子ども用

小山田さんへお聞きしました

それぞれの経験があったからこそ、現在がある

お店をやるなら、福祉施設だけの調理方法だけではだめだと思ったので、姉が札幌市に行っている間、私も転職して昼間はビュッフェレストラン、夜間は居酒屋を掛け持ちして働きました。転職した理由は、経験がないことを始めるのは不安だったのと、少しでも自分の中の引き出しを増やしたかったからです。

過去の職場とは、やり方も作っている料理も違いますが、これまでの経験をお店のメニューやお弁当、オードブル作りに生かすことができている。

また、福祉施設で働いていた時に「いつ、その人の最後の食事になるかも分からない食事を作るのだから、常にいい食事を出せ」と言われていました。今でもこの言葉を心に留めて作っています。

今までやってきたこと全部が必要なことだったなと本当に思います。思い返すと、私も姉も、それぞれ段階を踏んで、現在につなぐことができたのだなと思っています。

今後のことをお聞きしました

過去には、あれもこれもやりたくなり、自分たちがやれる範囲を超えてしまい、姉妹で衝突したこともありましたが、今では自分たちが「何を、どこまでできるのか」を考えるようになりました。

また、私たちとスタッフ2人の4人で現在働いていますが、それぞれのライフイベントも考えながら、誰が休んでもお店が成り立つような土台づくりもしていきたいです。

お客さんが「Unbreakable」に求めていることは、日々変わっていくものだと思います。お客さんの提案や支えがあって、お店を続けることができますので、これからも来てくれるお客さんの声に耳を傾け、私たちにできることを見極めながら、皆さんの幸せにつなげていきたいです。



厨房の様子



料理やお店の写真は、Instagram (@unbreakable_coffee_stand) からご覧ください！

Unbreakable

所在地 大字相坂字相坂 72-1

営業時間 正午～午後5時

※ラストオーダーは午後4時

定休日 火曜日

※月・火曜日の場合あり

問い合わせ 電話または公式LINEから問い合わせください。☎090-1936-5151



▲公式LINEはこちら

ホットな一句



◆◆ インタビューを終えて

インタビューの中で、うれしそうに「120%の力でおもてなししたい！」と力強くお話しされていた華加さんが印象的でした。

姉妹それぞれ、得意なところ、不得意なところを補い合って、お客さんからの「こんなのがあったらいいのに」を叶えていくお二人が素敵でした！これから、どんなお店に育っていくのか、楽しみです。

◆◆ 編集後記

- 「いつ、その人の最後の食事になるかも分からない」という言葉にハッとしました。食べる側も忘れがちな、大切なことですね。(O)
- 勤労は辛苦、特に自営業って自力で立ち上げから労力が必要なので、尚更ですね。継続困難の現代だからメンタル強化を。(K)
- 私も、日々、出会う人を、笑顔にしたいと思います。(S)
- 自分ではない誰かの幸せを支える事で、自分自身も幸せになれるよね。今後の生き方を考えさせられる、素敵なお店の在り方だと感じました。(M)

編集 十和田市男女共同参画市民情報誌ゆっパル編集委員

岡崎 大輔、木村 奈生美、新藤 幸子、村井 純麗

発行 総務課 広報男女参画係 ☎51-6702